

ダイムロン・フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロンメチル粒剤 イノーバ DX アップ 1 キロ粒剤 51	取扱メーカー： バイエル 原体メーカー： エス・ディー・エス、バイエル、 住友化学、クミカ
成分： ダイムロン〔尿素系〕……………4.5% フェントラザミド〔テトラゾリノン系 PRTR・1種〕…3.0% プロモブチド〔酸アミド系〕……………9.0% ベンスルフロンメチル〔スルホニルウレア系〕…0.51%	性状： 類白色細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- スルホニルウレア抵抗性のホタルイ、アゼナ類、コナギに高い殺草効果がある。
- 水稻に対する安全性が高く、田植同時処理に最適な水稻一発処理除草剤である。
- 田植同時期からノビエ2.5葉期まで使用可能で一発処理剤としても使用でき、一年生から多年生雑草まで幅広い効果がある。
- 田植と同時に処理しても、通常の圃場条件では既存の一発剤と同じく1回の散布で雑草を防除できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 共通注意事項の5. 水稻除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失ないように散布する。
- クログワイ、オモダカは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用する。
- 移植前に発生したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除法などを用いて移植前に防除してから使用する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ミズガヤツリ	2葉期まで
ウリカワ	2葉期まで (北陸は発生始期まで)
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前～再生始期まで
クログワイ オモダカ	発生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前

【薬効・薬害等の注意】……………

- 共通注意事項の5. 水稻除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 適用作物（水稻）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（いぐさ、れんこん、せり、くわい）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 魚類に影響を及ぼすので、使用時は注意。
- 藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用方法】

作物名	適用雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	適用地帯	本剤の 使用回数
移 植 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ クログワイ オモダカ アオミドロ・藻類に よる表層はく離	砂壤土 ～埴土	移植時	1 kg	田植同時 散布機で 施用	全域(北海道, 東北を除く) の普通期及び 早期栽培地帯	1 回 ※
			移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し, 移植後30日まで		湛水散布		
直 播 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	埴土～ 埴土	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し, 収穫90日前まで			全域(北海道, 東北を除く)	

※ダイムロンを含む農薬の総使用回数 : 移植水稲 3 回以内(育苗箱散布は1回以内, 本田では2回以内)
直播水稲 2 回以内

※フェントラザミドを含む農薬の総使用回数 : 1 回

※プロモプチドを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内

※ベンスルフロンメタルを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内